

～里親制度を知っていますか？～

子どもたちの健やかな成長を見守る力になってください！

さまざまな事情で自分の家族と暮らせない子どもたちが、現在、県内で、約1,700人います。里親制度は、そんな子どもたちを深い愛情と正しい理解を持った家庭の中で養育していただくものです。乳幼児から中高生まで、自立するまでの長期間や家庭の事情などによる短期間など、さまざまなお子さんを里親さんの生活スタイルに合わせて受け入れていただいています。

【里親登録のステップ】

里親として登録するまでには、以下の手続きが必要になります。

里親制度についての説明

受け入れのための研修・調査

里親登録

※知識や経験のないかたでも、研修（講義や実習）を経て里親登録の申請ができます。

【里親の種類】

養育里親	さまざまな事情により家族と暮らせない子どもを一定期間、自分の家庭で養育する里親です。
専門里親	養育里親のうち、虐待、非行、障害などの理由により専門的な援助を必要とする子どもを養育する里親です。
養子縁組里親	養子縁組によって、子どもの親（養親）となることを希望する里親です。
親族里親	実親が死亡、行方不明などにより養育できない場合に、祖父母などの親族が子どもを養育する里親です。

○里親には、迎え入れる子どもの養育費として

里親手当（養子縁組里親・親族里親を除く）、生活費、学校教育費、子どもの医療費などが支給されます。

○子どもの受け入れ前に一定の交流期間を設け、児童相談所がマッチング・サポートをします。

○子どもの受け入れ後も、管轄の児童相談所がサポートを行います。

○里親制度にご興味を持たれたかたは、熊谷児童相談所（☎ 048-521-4152）にお問い合わせください。

問合せ＝ 埼玉県熊谷児童相談所 里親推進担当 ☎048-521-4152
〒360-0014 熊谷市箱田5-13-1
✉k230967@pref.saitama.lg.jp（代表）

中学3年生対象 インフルエンザ予防接種費を助成します

【対象者】 町内に住民登録のある中学3年生の生徒

【助成対象接種期間】 10月1日(木)～令和9年1月31日(日)

【助成額】5,000円（1人につき1回限り）

※ただし、1回当たりの接種費が5,000円に満たない場合は、接種費を助成します。

【申請期間】 令和9年3月10日(木)まで

※対象のかたには9月下旬にお知らせを送付しています。詳細については、お知らせまたは町ホームページをご覧ください。



町ホームページ
QRコード

申請先・問合せ＝ こども未来課 子育て支援係 ☎76-2277

美里町の脳卒中死亡比は県の2倍以上！ ～今すぐできる予防策～

最新の統計（2020年～2024年）で、驚くべき結果になりました。

美里町では「脳梗塞」「脳出血」などの脳卒中で亡くなる人の割合が、埼玉県平均と比べて**男性で2.6倍、女性で1.9倍、全体で2.2倍以上**となっています。

出典：埼玉県の「健康指標総合ソフト」2025年度版より

衝撃の
実態！



脳卒中を予防するため、美里町では「そうだ、減塩しよう」をキャッチコピーに、減塩を推進します！

なぜ脳卒中は怖いのか

脳卒中は、脳の血管が詰まったり破れたりして脳の血流が途絶え、さまざまな症状を起こす病気です。

ある日、突然命を奪うだけでなく、手足の麻痺や言語障害などの後遺症を残すことがあり、これまでの生活を一変させてしまいます。

しかし、日頃の生活習慣を見直すことで、そのリスクを下げるすることができます。



命を守る3つの行動

▶「特定健診」を受ける

脳卒中のリスクになる高血圧などは、自覚症状がありません。年1回は健診を受け、からだの状態をチェックしましょう。



▶減塩・野菜プラス1皿

だしやレモン、スパイスを活用するなど、薄味を心がけましょう。麺類の汁は残しましょう。野菜には血圧を下げる効果があるので、プラスで1皿！（漬物は控えましょう。）



▶放置は厳禁！ 血圧が高いと言われたら医療機関へ

健診で「血圧が高い」と指摘されたかた、通院を中断してしまったかたは、必ず医師の診察を受けてください。



脳卒中予防十か条 2025

第1条 手始めに 高血圧から 治しましょう	第2条 糖尿病 放っておいたら 悔い残る	第3条 不整脈 見つけ次第第 すぐ受診	第4条 予防には たばこを止める 意志を持て	第5条 飲むならば なるべく少なく アルコール
第6条 高すぎる コレステロールも 見逃すな	第7条 お食事の 塩分・脂肪 控えめに	第8条 体力に 合った運動 続けよう	第9条 万病の 引き金になる 太りすぎ	第10条 脳卒中 起きたらすぐに 病院へ

今日からできる小さな一歩が、脳卒中の予防につながります。

出典：公益社団法人 日本脳卒中協会「脳卒中予防十か条」

問合せ＝住民保険課 健康推進係（保健センター内） ☎76-2855